

とき 土器について調べよう

「土器」とは、ねん土をこねて、**器**の形にした焼きものです。日本で最初の土器は「**縄文土器**」と呼ばれ、今から1万年以上も前に作られました。その後、米作りが始まった2千5百年前ころからは、「**弥生土器**」と呼ばれる新しい土器が作られるようになりました。

じょうもん **縄文土器** (第1展示室)

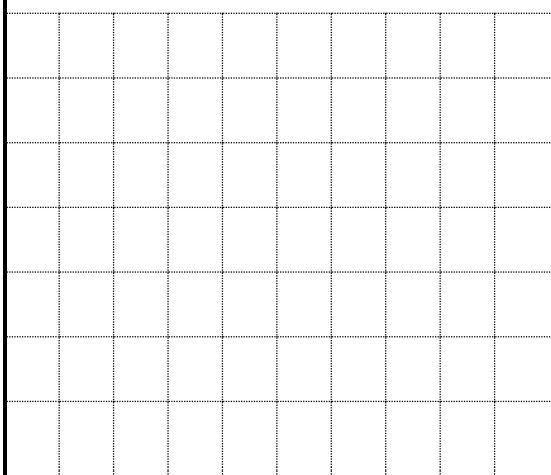
つぎの縄文土器をさがし出して、それぞれがどのくらい昔に作られたものかを調べよう。



上の土器は、どのように用いられたでしょう。

やよい **弥生土器** (第1展示室)

弥生土器をひとつ選んでスケッチしよう。

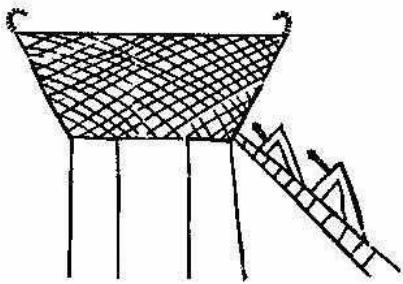


あなたがスケッチした弥生土器は、次のなかのどれでしたか。 (○でかこみましょう)

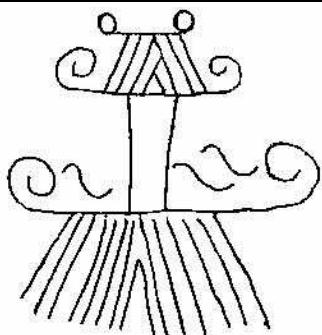
つぼ · かめ · たかつき

土器を使うようになって、人々の生活はどのように変わったでしょう？

絵がえがかれた土器をさがしてみよう！（第1展示室）



左の絵にえがかれた建物を何といいますか。



左の絵は何をえがいたものでしょうか。

この絵にえがかれた土器は、奈良県の何という遺跡で見つかりましたか。

今から1700年ぐらい前には「古墳」と呼ばれる大きな墓がつくられるようになり、これ以降、土器を作る新たな技術が大陸から伝えられました。

須恵器と土師器（第2展示室・第3展示室）須恵器と土師器とを比べてみよう！

- | | |
|-----|--|
| 須恵器 | <input type="radio"/> () 色のものが多い。 |
| | <input type="radio"/> それまでの土器よりもかたくて、水もれしにくい。 |
| | <input type="radio"/> 作り方は () 半島から来た「渡来人」によって伝えられた。 |

- | | |
|-----|--|
| 土師器 | <input type="radio"/> () 色のものが多い。 |
| | <input type="radio"/> (縄文 ・ 弥生) 土器とてている。（どちらかを○で囲もう） |

☆土器についてもっと知りたい人は、映像（ビデオ）ライブラリーにも行ってみよう！

「分野」 → 「古代の技術」 → 「古代の土器」の順番に画面にタッチ

せっき 石器について調べよう

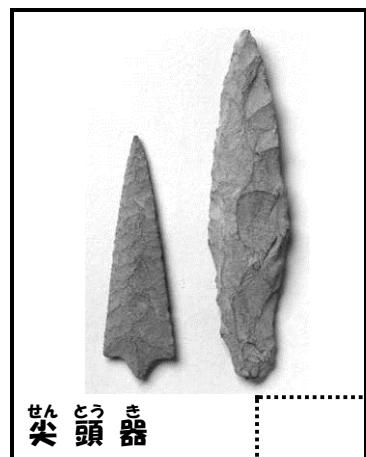
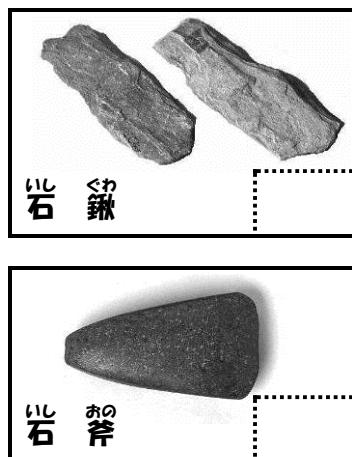
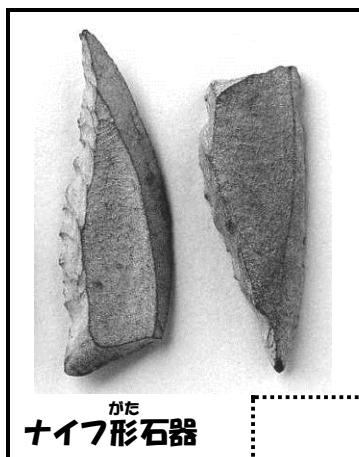
「石器」は、石を割ったり、みがいたりして作った道具で、使う目的によってたくさんの種類があります。人間が石器を作るようになったのは200万年以上も前ともいわれ、原始時代の人々の生活にとって、なくてはならない大切な道具でした。

石器について、次の問題に挑戦しよう！

問題1 奈良県で発見された石器で一番古いものは、今から何年ぐらい前のものですか。

問題2 かたくて、するどい割れ方をするので、石器の原石として利用された、香芝市の二上山でとれる石を何と言いますか。

次の石器を「第1展示室」の中でさがして、見つけたものには○をつけましょう。



次の石器はそれぞれ何に使ったのか、どのように使ったのかを考えましょう。

石 器	何に使ったのか？どのように使ったのか？
石 鎌 せき そく	
石皿と すりいし 磨石	[ヒント] 石皿の真ん中のくぼんだところに何がある。
御物石器 ぎょぶつ	※実は、この石器は学者にとってもまだナゾの道具です。 みなさんで自由に考えてみて下さい。
石庖丁 いしほうちょう	[ヒント] 2つの穴(あな)に、ひもを通して使いました。

はつ 発 展 てん	現在でも使っている「石で作った道具」にはどんなものがあるでしょうか。
--------------------	------------------------------------

☆石器についてもっと知りたい人は「映像（ビデオ）ライブラリー」にも行ってみよう！
「時代」→「旧石器・縄文・弥生時代」→「石器時代の大和」の順番に画面にタッチ

「はにわ」について調べよう

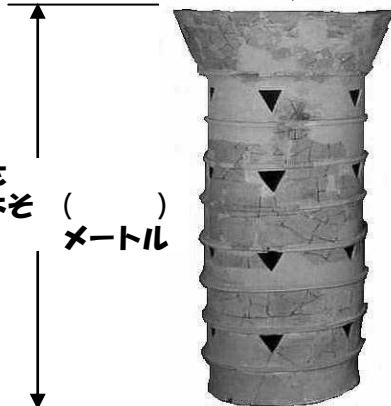
「はにわ」は、ねん土を焼いて作った土器で、古墳（豪族の大きな墓）の上にならべられました。「はにわ」には大きく分けて、円い筒のような形をしたもの（円筒はにわ）と、人間・動物・家・さまざま道具などの形をしたもの（形象はにわ）の2つの種類があります。

円筒はにわ

この博物館にある
日本最大の「円筒はにわ」

今からおよそ1700年前
のものです。

高さ
およそ
(メートル)



この「円筒はにわ」は、何という古墳で見つかりましたか。

どうして、こんなに大きなものをつくったと思いますか。

「円筒はにわ」にさわってみよう！

あなたがさわったのは、およそ1500年前の「円筒はにわ」のかけらです。さわってみた感想を書きましょう。

（感想書き込み用）

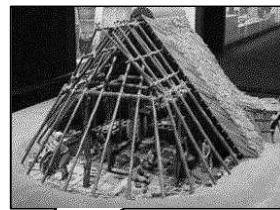
〈第2展示室〉



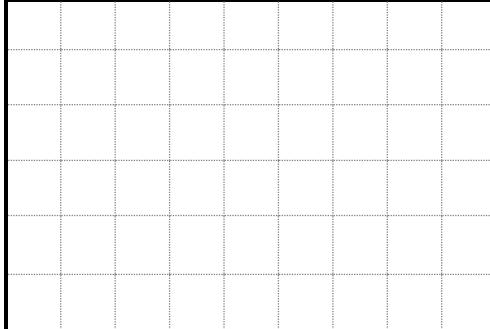
●印の2か所で実物に
さわってみることができます。

けいしょう 形象 はにわ

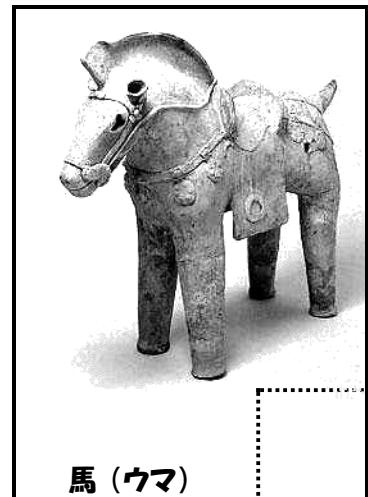
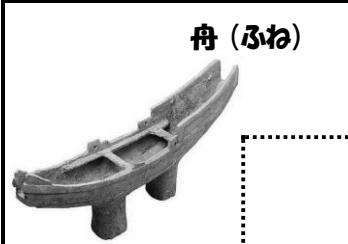
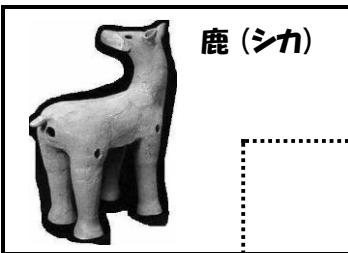
いえがた
「家形はにわ」をひとつ選んで、スケッチしてみましょう。



「たてあな住居」と比べてみて、どんなところがちがっていますか。



次の「形象はにわ」を「第2展示室」で探して、見つけたものには○をつけましょう。



さまざまな「形象はにわ」からわかる、当時のようすをまとめてみましょう！

☆「はにわ」についてもっと知りたい人は「映像（ビデオ）ライブラリー」にも行ってみよう！

「時代」 → 「古墳時代」 → 「はにわの動物たち」の順番に画面にタッチ

こふん
「古墳」について調べよう

「古墳」は、3世紀の初めごろから、各地の王や豪族をほうむるためにつくられた墓です。ほとんどの古墳は、土をもったりしてつくった小山のような「墳丘」をもち、当時の王や豪族は、大きな「古墳」をつくることによって力の大きさを示したと考えられています。

古墳の種類

古墳は、「墳丘」の形によってさまざまな種類があります。空欄の古墳にそれぞれの形をスケッチしましょう。



ひつぎ
棺の種類

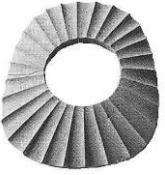
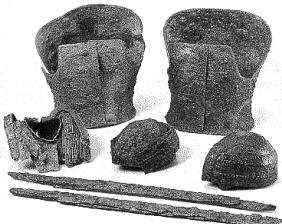
古墳の中にはさまざまな棺がおさめられていました。何とよばれているでしょうか。「第2展示室」や中庭に展示してあるのを探して、その名前を書きましょう。



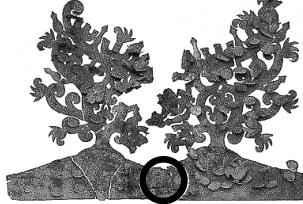
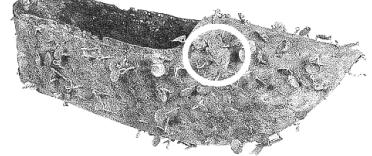
古墳におさめられたもの

古墳の石室や棺には、さまざまな品物があさめられました。その品物から、王や豪族の力の強さや大陸とのつながりもわかります。

① 次のものを「第2展示室」で探して、それぞれの問題に答えましょう。

<p>車輪石 これは何でしょう。</p>  <p>[]</p>	<p>名称は [] どんな色でしょう。</p>  <p>[]</p>
<p>銅鏡 (内行花文鏡) 古墳によっては30枚もの鏡がうめられていました。どうして鏡をおさめたのでしょうか。</p>  <p>[]</p>	<p>甲冑と刀 これらの武器は何で作られていますか。</p>  <p>[]</p>

② 藤/木古墳(斑鳩町)におさめられていたものを観察しましょう。

<p>金銅製 ()</p>  <p>[]</p>	<p>() 金具 (後輪)</p>  <p>[]</p>	<p>金銅製 ()</p>  <p>※復元品が正面入り口にあるよ</p> <p>[]</p>
<p>○ の部分には、それぞれ動物がデザインされています。何でしょう?</p> <p>[]</p> <p>[]</p> <p>[]</p>		

☆古墳についてもっと知りたい人は「映像(ビデオ)ライブラリー」にも行ってみよう!

「時代」→「古墳時代」→「古墳の形態」の順番に画面にタッチ

「分野」→「服装とアクセサリー」→「玉はよみがえる」の順番に画面にタッチ

「発掘調査」→「古墳時代」→「藤/木古墳の開棺調査速報」の順番に画面にタッチ

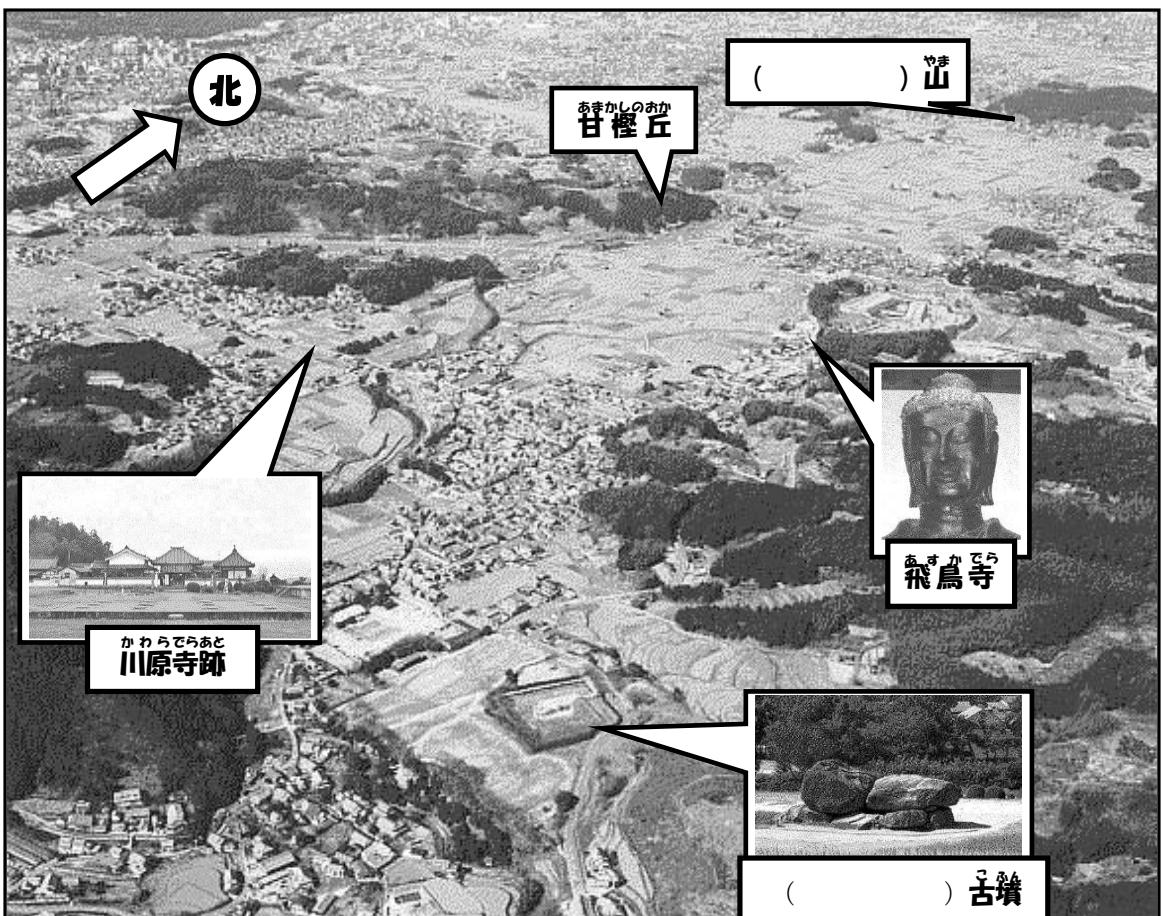
あすかきょうせき
「飛鳥京跡」について調べよう

あすか 香久山（香具山）の南、飛鳥川東岸の東西0.5km、南北1kmというせまい地域です。『日本書紀』によると、592年に推古天皇が飛鳥（豊浦宮）で位につき、それからおよそ100年間にわたって宮都（天皇の住まい、政治の中心）はほぼこの飛鳥におかれ、天皇を中心とした国づくりが進められました。

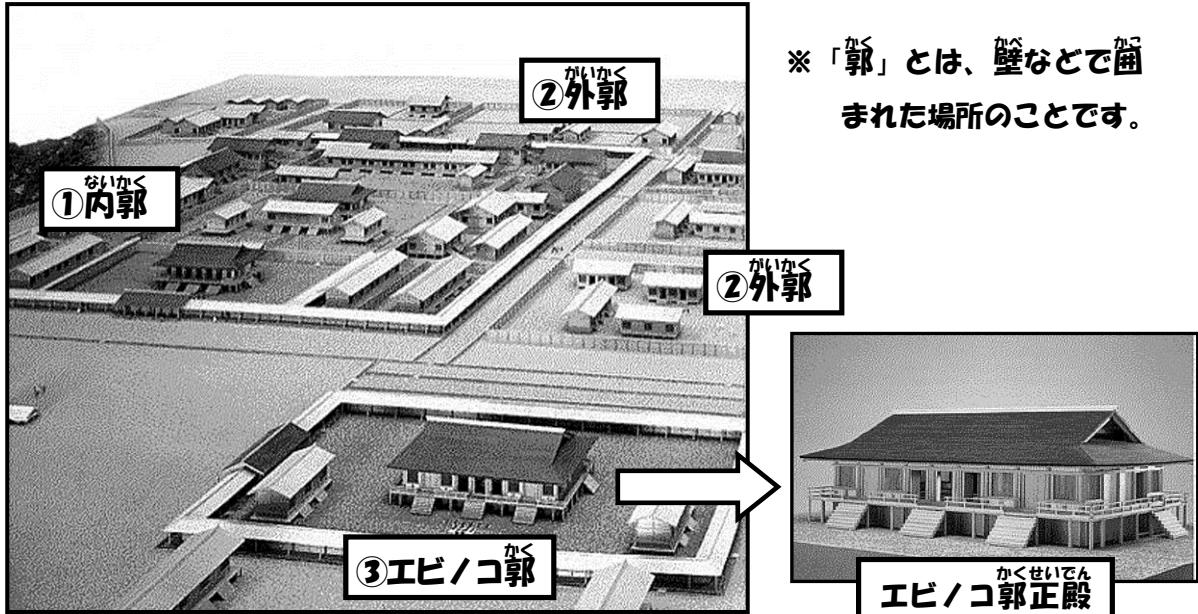
下の航空写真は、飛鳥の地を南東上空から撮影したものです。

①「飛鳥京跡」の位置を で囲んでみましょう。

②山の名前と古墳の名前を（ ）に書きましょう。



第3展示室にある「飛鳥の宮」の模型は、673年に位も出いいた天武天皇の「飛鳥淨御原宮」という宮殿を、これまでの発掘調査の結果をもとに復元したものです。



※「郭」とは、壁などで囲まれた場所のことです。

それぞれの「郭」を①~③の番号で答えましょう

天皇が国の儀式を行う→ ()

天皇が暮らしている→ ()

役所の建物が並んでいる→ ()

[ヒント]

タッチパネル⑥

「模型を見る」で調べてみよう

模型をよく見て、気がついたことをまとめてみましょう。

☆飛鳥京跡についてもっと知りたい人は「映像（ビデオ）ライブラリー」にも行ってみよう！

「分野」→「すまい・都市」→「宮と京（1）」の順番に画面にタッチ

「時代」→「飛鳥時代」→「復元・飛鳥の宮」か「復元・エビノコ郭」の順番に画面にタッチ

「分野」→「すまい・都市」→「飛鳥の宮復元制作録」か「エビノコ殿復元制作録」の順番に画面にタッチ

「木簡」から貴族や役人の生活を調べよう

墨で書かれた木の切れはしのことを「木簡」といいます。奈良時代のころまでは、紙は貴重品でしたので、このように木の切れはしが紙の代用品として使われており、私たちに当時のようすを伝えてくれています。

- (1) 左大臣（現在の總理大臣にあたる地位）だった長屋王の家のあとから発掘された「木簡」から、長屋王が食べていたものを調べてみましょう。

- (2) 右の「木簡」は平城京「右京」に暮らしていた高屋連家麻呂という下級役人（「少初位下」というのは役人の中で最も下の位です）の6年間の働きぶりについて書かれた記録です。

◇この木簡を展示室で見つけましたか。 (はい · いいえ)

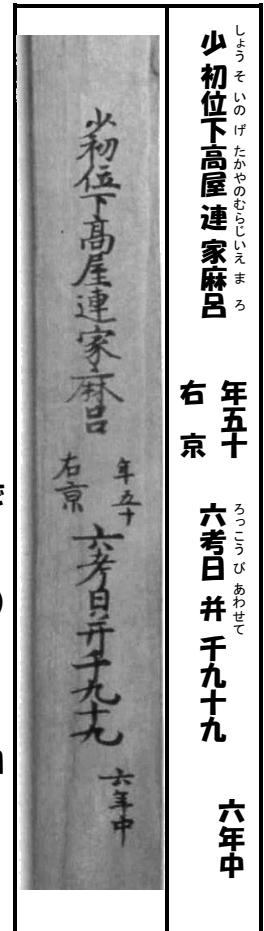
◇家麻呂は何歳ですか。 _____ 歳

◇家麻呂は6年間で何日働きましたか。 _____ 日

◇家麻呂は平均して、1年間で何日働きましたか。 _____ 日

◇家麻呂の仕事ぶりは、どのように評価されていますか。

- (3) 都の役人は、筆や小刀を使って紙や木簡に記録をつけていたことから「刀筆の吏」とも呼ばれていました。小刀は何のために必要だったのでしょうか。



少初位下高屋連家麻呂

右京

六年中

六年中